

## 第3回（仮称）青森県DX推進プラン議事録（サマリー）

日時 令和5年7月26日（水）  
10:00～12:00  
場所 青森県庁南棟2階中会議室  
オンライン

### 1 開会

- 全委員出席（12名）

### 2 議事

- 「（仮称）青森県DX推進プラン」素案（案）について意見交換を行った。
- 各委員からの主な意見は以下のとおり。
  - 「変革」というこのプランの看板に齟齬のないように今後の取組を進めてほしい。
  - 特にトランスフォーメーション人材が重要。変革できる人が必要であり、その手段がデジタルとなる。変革できる人を育てる、支えていくための心得がDXの計画だと思う。
  - 秋田県の大雨災害のときに、高齢者の避難が大変だった、安否確認もできなかったと聞いた。防災の観点からも高齢者の見守りが必要。
  - 地場の企業が持っている強み、又は課題の解決に向け、ITを使って青森ならではのモデルを作っていくためには、県内事業者と地場のIT企業を繋げることが大事。
  - いま就職の選択肢に入っていない農業や水産業を、DXによって魅力的な産業に変えていかなくてはならない。
  - 学校の良いところを残しつつ、児童・生徒たちは個別学習やICTツールを活用して自分の進度に合わせて学ぶ、学校は集団生活を学ぶところというように、教員や教育、そして学校のあり方が変わっていくと思う。
  - 行政でも民間でも経営者層、マネジメント層が適切にデータを使って経営をしていく、施策を打っていくことが必要である。
  - 横断的にデータを使う考え方を意識することを入れてほしい。特に、自治体は、同じデータを色々な課で持っている現状を解消できるとデジタルが進む。
  - 身近な社長がやると、うちもやろうと取り組む経営者がいる。過半数を超えれば、一気に広がるので、そういう横並びをうまく活用したい。
  - このプランを使って、小学生向けの教材を作成し、小学生が働く年齢になった時の職業選択やこんな世界になっているというわくわくする未来を伝えてはどうか。
  - 青森の観光をDXでもっと盛り上げていくためには、インバウンドを誘致するためのツールやキャッシュレスなど買ってもらうためのツールなどのDXをこのプランに散りばめてはどうか。
  - みんながデジタルを使えるようになるのではなく、デジタルの恩恵を受けられるような状態が理想なので、デジタルデバインドへのサポートやインターフェースの部分も大事。

### 3 閉会